

平成 17 年 3 月 25 日

各 位

固定資産の譲渡による有利子負債の大幅圧縮、ならびに シンジケートローンの契約成立に関するお知らせ

ラオックス株式会社（以下、ラオックス・代表取締役社長／谷口好市・本社／東京）は、平成 16 年 3 月期決算短信（平成 16 年 5 月 28 日発表）において公表している「中期的な経営戦略」を具現化し、財務体質を強化する目的で、子会社を含めたグループ全体として、営業活動に使用していない保有物件を売却する計画を推進して参りました。この度、その資産譲渡先、譲渡価格などが決定いたしましたので、お知らせします。

これにより、平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（連結）発表時点での有利子負債約 350 億円のうち、売却代金 130 億円相当分を返済いたします。なお、平成 17 年 3 月末日時点での有利子負債残高は、200 億円になる見込みです。

また、有利子負債残高につきましては、全額をシンジケートローンに置き換えるべく、協調融資団との間で、3 月 18 日に調印いたしました。

ラオックスは、平成 14 年 3 月期以降、赤字決算が続いていましたが、平成 16 年 11 月 22 日に第 3 者割当増資を実施、平成 17 年 2 月 16 日の臨時株主総会において、株式会社 M K S パートナース代表取締役社長・松木伸男氏など 4 名の取締役が選任され、同社主導の経営再建がスタートしております。

この度の有利子負債圧縮による財務体質強化を背景にして、ラオックスは、黒字経営への復帰に向けて、大きく前進したことになります。

記

< 1 > 資産譲渡について

1. 譲渡の理由

当社グループの本業である電化製品の販売に使用していない資産、並びに低効率資産を売却し、有利子負債の圧縮を図る為であります。

2. 譲渡資産の内容

No	資産の内容及び所在地	帳簿価格	譲渡価格	現況	譲渡日
1	旧ザ・デジタル館 東京都千代田区外神田 一丁目 59 番 土地 654 m ² (連結子会社所有) 建物 5,544 m ² (連結子会社所有)	5,430 百万円	4,953 百万円	賃貸	平成 17 年 3 月 15 日
2	行徳倉庫 千葉県市川市本行徳 2554 番 53 他 土地 2,846 m ² (連結子会社所有) 建物 5,544 m ² (連結子会社所有)	339 百万円	300 百万円	当社使用	平成 17 年 3 月 25 日
3	その他物件 土地及び建物 千葉県八千代市・千葉市・成田市・ 習志野市、宮城県仙台市、茨城県取手市、 東京都台東区所在の 8 物件 土地 27,887 m ² (当社所有) 建物 47,776 m ² (当社所有)	13,167 百万円	9,180 百万円	賃貸又は 未使用	平成 17 年 3 月 25 日
	合計	18,937 百万円	14,433 百万円		

注 1 . 譲渡価格には消費税が含まれておりません。

注 2 . 帳簿価格および譲渡価格は、百万円未満は切り捨てて表記しています。

注 3 . 土地・建物のm²数値は、小数点以下を切り捨てて表記しています。

3. 譲渡先の概要

	No. 1	No. 2
商号	有限会社シエナ	明治通商株式会社
本店所在地	東京都中央区銀座六丁目 2 番 1 号	千葉県浦安市鉄鋼通り一丁目 1 番 1 号
代表者	取締役 横山公一	取締役 西山岩男
資本の額	300 万円	2,000 万円
主な事業内容	不動産売買、賃貸及び管理	石油・燃料用油販売
当社との関係	なし	なし

	No. 3
商号	鴻池運輸株式会社（大阪府大阪市中央区北久宝寺三丁目6番1号） ほか、法人3社 以下略
本店所在地	
代表者	
資本の額	
主な事業内容	
当社との関係	なし

4. 今後の見通し

当該事象に関し、平成17年3月期決算において、個別で固定資産売却損3,987百万円、連結で固定資産売却損4,504百万円の特別損失の計上を見込んでおります。

なお、平成17年2月25日付の第3四半期財務・業績の概況において公表しました平成17年3月期の業績予想に変更はございません。

< 2 > シンジケートローンの概要について

- 1. 融資枠設定金額： 総額 260 億円
- 2. 契約調印日： 平成17年3月18日
- 3. 内 訳： タームローン、200 億円（5年）
コミットメントライン 60 億円（1年）
- 4. アレンジャー： 三井住友銀行
- 5. コアレンジャー： 日本政策投資銀行
- 5. シンジケート7行： 三井住友銀行、日本政策投資銀行、千葉銀行、UFJ銀行、
東京三菱銀行、りそな銀行、八十二銀行

以上